



2015-2016年度 広島北ロータリークラブ週報

世界へのプレゼントになろう

国際ロータリー会長 K.R.“ラビ”ラビンドラン 氏
国際ロータリーテーマ

Be a Gift to the World
世界へのプレゼントになろう

■会長 山下 正司 ■幹事 上河内 裕司
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

■本日の例会	2016年5月12日(木)	第2268回
国歌斉唱		
ロータリーソング	「奉仕の理想」	
四つのテスト唱和	職業奉仕委員会	
来客紹介	親睦委員会	
会員誕生月お祝い		
会長時間		
幹事報告		
委員会・同好会報告		
ニコニコ箱		
卓話時間	『飲食店のプロデュースの仕方』	料理家 平野寿将 氏

しておりますので会員増強にもご協力をお願いして会長の時間を終わります。

幹事報告 幹事 上河内裕司

*次週28日(木)の例会は24日(日)からの「創立47周年記念例会並びに懇親会」となっております。

*5月例会予定表(BOX配布物)

*次年度所属委員会表(BOX配布物)

委員会報告

会報IT委員会 樽本会員

ロータリーの友4月号をご紹介します。

P3 RI会長メッセージ

P14~17 母子の健康月間にちなんで茅ヶ崎中央RCの「家庭健康プログラム」

P18~21 米山梅吉没後70年の特集

P66 卓話の泉:江戸しぐさ

また、オリジナル切手シートが出来上がりましたので、お持ち帰りください。

次年度幹事報告 岡部次年度幹事

本日、次年度所属委員会表の最新版をお配りしていますので、ご確認をお願いいたします。

ニコニコ箱

ニコニコ委員会

《自主出宝》

山下(正)会員・東会員・上河内会員・藤田会員・吉永会員 吉村昇洋様、本日は、大変お忙しい中、広島北RCにお越し頂きありがとうございます。「禅とは何か？」興味深いお話大変楽しみにしております、よろしく願いいたします。

小林(孝)会員 吉村様、本日の卓話宜しく願いいたします。

庄子会員 先週の卓話では米山奨学会と学友会の説明をさせて頂き、ありがとうございました。これからも御理解とご協力をよろしくお願いいたします。何か質問がありましたら遠慮なく申し付けください。

山下(江)会員 ☆ この度、市民向けの法律本「相続・遺言のポイント50」を出版することになりました。6月1日PM7時からANAにて出版記念パーティーを開催しますので、お時間の許す方はご参加下さい。「ポイント50」にちなんで50枚といきたいところですが、5枚ニコニコへ。

佐藤会員 お陰をもちまして調剤薬局を開局し、1ヶ月経ちました。皆様の処方箋をお待ちしております。場所は鉄砲町にあるプロマートの後ろです。

高原会員 オバマ大統領の広島訪問が現実的となって参りました。大変喜んでます。世界平和実現に対して全世界が期待することが大きいと思っています。

当日計 15,000円(内、web6,000円) 累計 1,217,900円

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円

前々回の例会 2016年4月21日(木) 第2266回

ロータリーソング	「R-O-T-A-R-Y」
来客紹介	親睦委員会
会長時間	
幹事報告	
委員会報告・同好会報告	
ニコニコ箱	
卓話時間	『禅とは何か?』 曹洞宗八屋山 普門寺 副住職 吉村 昇洋 氏

会長時間 会長 山下 正司

皆さんこんにちは。今日は卓話の時間に 普門寺住職の 吉村様にお越しいただいております。30分と短い時間ですが楽しみにしておりますのでよろしくお願い致します。

さて、最近日は日に日に暖かくなり、もう少しでゴールデンウィークを迎える心うきうき一番気持ちの良い季節であるはずですが、皆さんご承知のとおり熊本・大分を中心とした九州地区に起きた大地震による大きな災害が発生してしまいました。今も自衛隊を中心に大勢の救援隊が一生懸命に救助活動が続けておられますが、未だに続く余震に二次災害が起こらない事を願うばかりです。去年は広島で大きな地滑りによる土砂災害が発生し、全国から大変な支援を頂いたところですが、今回は私たちが何か支援をさせて頂く番ではないでしょうか? 今日はこの後緊急理事会を開催してこの事について協議する予定にしております。皆の気持ちを一にしてタイムリーに精一杯の支援を実行したいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

近年日本中のいたるところで大きな災害が起きています、自然を相手にいつ自分が被害者になるかもしれません。緊急時の備えは皆さん充分ですか? 今一度自分の事として救急防災バッグの準備をしておかれる事お勧めしておきます。

話は変わりますが、先週小林さんが入会され、5月にはゲスト例会も開催される予定となっております。是非多くの会員からの推薦を期待

『禅とは何か？』

曹洞宗八屋山 普門寺
副住職 吉村昇洋 氏



私、広島県広島市中区にございます大手町の中電病院の真裏にあります、ちょっと、しだれ桜で有名なお寺があるんですけども、そちらのお寺で副住職をしております吉村昇洋と申します。よろしくお願ひいたします。

本日、ご縁をいただきまして「禅とは何か？」ということについてお話をさせていただけるということで、楽しみにしてまいりました。

禅とは何か。この広島県といえますのは57%が浄土真宗さんの地でございます、曹洞宗は5%しかございません。ですので、あまり禅と聞いても、なんとなくしか把握しておられない方が多いんじゃないかなというふうに思いますが、その禅といえますのが最近、テレビ等でも取りあげられる機会が非常に多いので、今日は禅というのがこういうものなんだなということを感じ取って、お帰りいただけたらいいかなと思っております。

禅仏教とは何かというお話をさせていただくんですけども、その前に、禅仏教という以上は、禅と仏教に分けられます。そもそもの仏教というのは何かということですが、この基本的な考え方を押さえておくと、仏教というものがこういうものなんだなということがよく分かってきます。その一番大事なのが四法印と呼ばれる、この四つなんですね。

まず最初が、諸行無常ですね。すべての存在は変化し続けるという言葉になります。諸行無常という言葉、よく聞いたことあると思うんですね。『平家物語』の冒頭のところで、鐘の音は諸行無常なのだというような内容のことが書かれております。鐘の音、ゴーンと鳴って、徐々に小さくなっていく。ずっと同じレベルでゴーンと鳴り続けるわけじゃない。最初は大きく響いて、だんだん小さくなっていく。つまり、すべての存在は変化し続けるということの象徴で、その言葉が使われているということになります。

そして続いて、諸法無我。これは、すべての存在には固有の主体、これを我と、仏教ではいいます。固有の主体というものがないということを用います。この我という、無我と。無我の境地というふうな言葉でよく表現されますけれども、この無我ってなんなのかな。よく、私というふうに表示もしたりしますが、私というのが存在しないというふうな用いわけですね。

固有の主体、いや、ここに私というのはちゃんと存在しているじゃないかと、皆さん、思っているはず。私は誰も関係のない、まったく固有の私という存在であるというふうに感じておられると思うんですけども、仏教では、それは妄想であるというふうにいいます。

どういふことか。これは、言葉の成り立ちから想像していただくと非常に分かりやすいんですけども、ちょっと目をつむっていただいて想像していただきたいんですが、なんにもない空間のなかに、私一人だけ、いるとします。なんにもない空間です。私一人だけが存在する。そうした状況のなかで、私という言葉が生まれてくるでしょうか。目を開けていただいて。なんにもないところに私しかいなかったら、私という言葉は生まれてきません。なぜか。それは、私と主張する必要性がないからです。

つまり、私というふうに表示する必要性が出てくるというのは、他者の存在があつて初めて、私というふうに表示する必要性が出て

くるんですね。となれば、私の存在というものを規定するのは、他者の存在であるということ。あなた、彼、彼女と。第三者、第三者の存在あつて初めて、私というものが成立するんですね。であるならば、私は他者であり、他者は私である。

つまり、諸法無我といえますのは、このように書いてございますけれども、別の言い方をすれば、すべての存在は関係性によってしか成り立たないというふうにも、読むことができるということですね。

先ほど「四つのテスト」を見させていただいて、まさにこの諸行無常、諸法無我の関係性のなかでいっている言葉だなというふうには、私なんかは受け取ってしまうんですけども、関係性というものを大切にしながら生きていかざるをえないのが私たち人間、すべての存在がそうであるということになってまいります。

だからこそ、仏教というのは他者を大切にしようというふうに、よく言うんですね。その根拠はここにあるというふうに、知っておいていただくと思ひます。

そして三つ目、一切行苦。苦でないものは存在しないというふうにいいます。ここでポイントになりますのは、苦というふうな表現がしてあるんですね。苦しみじゃないんです。苦ということですね。この苦といえますのは、仏教の意味合いでいいますと苦しみという意味ではなくて、自分の思いどおりにならないことを苦といひます。自分の思いどおりにならないこと。つまり、自分の思いどおりでないものは存在しないと。思いどおりにならないことだらけだということを用いますね。

有名な言葉に、四苦八苦という言葉があります。生まれるという字、老いるという字、病という字、そして死ぬという字、生老病死といひますけれども、すべて自分の思いどおりになりません。生まれてくること、老いること、病になること、死ぬこと、何一つ自分の思いどおりになりません。自分でコントロールできるものではない。それにプラス、愛別離苦、怨憎会苦、求不得苦、五蘊盛苦(ごうんじょうく)といひまして、会いたい人に会えない苦、会いたくない人に会わないといけない苦、欲しいものが手に入らない苦、そして真実が分からないことによって苦しむ苦ということになるわけですけども、このすべて合わせて四苦八苦というふうにいひます。

そして最後の、涅槃寂静(ねはんじやくじょう)ですね。これらを自覚しながら生きることこそ、煩惱を滅した安住の境地であるというふうには、ここでいうわけですね。諸行無常、諸法無我、一切行苦、この三つをしっかりと自分の頭にたたき込んだうえで、それを自覚しながら生きていくということが、自分の心の平安につながるんだというのが仏教の考え方ということになります。

※紙面の都合上、以降割愛しますが、全てお読みになりたい方は事務局に申し付けください。原文をお渡しいたします。

《吉村昇洋副住職著書ご紹介》

- 『禅に学ぶくらしの整え方』
- 『気にしない生き方』
- 『心が疲れたらお粥を食べなさい 豊かに食べ、丁寧に生きる禅の教え』
- 『週末禅僧ごはん』
- 『気にしなければ、ラクになる。』 etc...

■出席報告 出席委員会
2016年4月21日(木) 会員数 86名
出席 71名 欠席 14名
来客 3名 ゲスト 1名
4月7日例会出席率 100%
■来客紹介 親睦委員会
吉村 昇洋 様(卓話者)

前回の例会 2016年4月24日(日) 第2267回

【創立47周年記念例会並びに夫人同伴懇親会】

※2016年4月28日(木)例会の変更

会長時間

会長 山下 正司



皆さんこんばんは。今日は広島北RC 創立47周年記念例会と言う事で、陵北RCから川中会長と高野幹事に参加頂き、併せて多くの会員ご夫人にも出席頂き誠にありがとうございます。例会に引き続き後ほど47回目の誕生日を祝って懇親会を企画されておりますが、石田理事、越智委員長をはじめ親睦委員会の皆さんには設営に尽力頂きご苦労様です。皆さんで大いに盛り上げ楽しい懇親会になります事を願っております。

さて、今日の会長時間で皆さんにご報告をしておきたい事が有ります。先日臨時理事会を開催し緊急にて決定させて頂きました。この度の熊本・大分における大きな地震による被害に対し、被災者義捐金を広島北RCとして1万円/人を送る事とさせて頂きました。これについては理事会でも色々意見(直接被災地のニーズを聞いて支援を考えた?等)が有りましたが、RI第2720地区熊本地震総合支援室という組織が既に立ちあげられこちらからの協力のお願いと言う事で文書が届きました。この中で活動支援金の使途もキチンと記されておりますので、私達が今できる支援で一日も早い日常が戻る事を願いながら応援したいと思いますので、会員皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。少し長くなりましたが、会長の時間を終わります。ありがとうございました。

祝辞

広島陵北ロータリークラブ
会長 川中 俊三 様



広島北RC47周年誠におめでとうございます。私は広島陵北RC会長の川中敬三でございます。本日は記念例会にお招き賜り有難うございます。広島北RCと陵北RCは、親子関係であることはご存じの事と思っております。今も親子で入っているメンバーが、南條君、今田君、堀江君、瀬川君、北の深川君、そして川中と大変ご縁が深いものと存じます。私共陵北RC設立時にはチャーター29名中、北のメンバーの子息が7名もいました。その陵北RCも昨年9月、御陰様で25周年記念式典を無事終えることができました。これも親クラブであります広島北RCのご指導のお蔭と感謝いたしております。高い席からではありますが御礼申し上げます、大変有難うございました。顧みますと広島北RC様におかれましては、1969年天満町の岩崎ビルにおいて、仮広島北RCの創立総会から始まり、今まで数多くの社会奉仕活動に取り組み成果を上げておられることを拝見しております。高い席からではありますが敬意を表します。最近ではタイにおけるグローバルな奉仕活動に積極的に取り組み大きな成果を上げておられることなど、枚挙に堪えません。本年度山下会長様から今までの野球における友好を大事にし、さらにクラブ連携を深めて行こうと呼びかけて頂きました。私もこの案には大賛成ですし、ご縁を大事にしていけたらと思っています。今後とも広島北RCと陵北RCがより強い絆で結ばれ、大きな成果を生み出せたら幸いです。終わりに、広島北RCが益々発展されますよう祈念申し上げ祝辞とさせていただきます、本日は誠にありがとうございます。

花束贈呈



左から、
久永 洪会員
広川 滋会員
山本忠男会員
中川良男会員

クラブ在籍40年以上の方々に日頃の感謝を込めて花束を贈呈いたしました。

お祝い

米山奨学生のダス君にお子さんが誕生しましたので、クラブからお祝いを渡しました。



懇親会



開会挨拶 石田理事



アダルトカンパニー演奏



アダルトカンパニー&豊年



閉会挨拶 東副会長

■出席報告 出席委員会

2016年4月24日(日) 会員数 86名
出席 64名 欠席 22名
名誉会員1名 来賓 2名 ゲスト 1名
4月14日例会出席率 100%

■来客紹介

川中 俊三 様(広島陵北RC会長)
高野憲一郎 様(広島陵北RC幹事)
ダス・ラリット クマール 君(米山奨学生)